

平成31年4月7日

執行

大分県知事選挙公報

大分県

選挙管理委員会

(掲載順序はくじによる)

加速前進！おおいた創生

～広瀬勝貞が開く大分県の未来～



県民中心の県政

県政の主役は県民です。私は、これまで、「県民中心の県政」を基本姿勢として「安心・活力・発展の大分県づくり」に全力をあげてきました。

県内各地に伺い、様々な活動の現場を訪ね、お話を伺い、時にはお叱りをいただきながら、それを行政に反映してまいりました。

県民とともに悩み、考え、汗を流して課題に当たり、夢を描いてきました。課題は様々ありますが、私は、特に次の3つを挙げて、全力で取り組みます。

I 大分県版地方創生

人 人を大事にし、人を育てる

- 「子育て満足度」「健康寿命」「障がい者雇用率」3つの日本一を目指します。
- 「教育県大分」を推進し、学力・体力を全国トップレベルにします。

仕事 仕事をつくり、仕事を呼ぶ

- 農林水産業の魅力アップ、構造改革を加速します。
- 中小企業の振興、創業・起業の支援を強化し、企業誘致を促進します。

地域 地域を守り、地域を活性化

- 観光や芸術文化を活用し、地域活性化を図ります。
- 集落の機能を広域で補い合う「ネットワーク・コミュニティ」の取組を強化します。

基盤 基盤を整え、発展を支える

- 九州の東の玄関口としての拠点づくりを推進します。
- 中九州横断道路や中津日田道路など広域交通網の整備を加速し、東九州新幹線の整備を推進します。

II 先端技術への挑戦

人工知能、IoT、ドローン、アバターなど先端技術に挑戦し、新たな産業を振興して、社会課題の解決や生活利便性の向上を図ります。

III 強靱な県土づくり

大規模な自然災害に備えて、治山・治水対策を抜本的に強化し、地震・津波対策に万全を期します。

ひろ
せ
かつ
さだ

無所属

Facebook



@hirosekatsusada

twitter



@KatsusadaHirose

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は 4月7日(日)



選挙のめいすいくん

投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。

期日前投票の期間	{	県知事選挙	3月22日(金)～4月6日(土)
		県議会議員選挙	3月30日(土)～4月6日(土)

その一票 おおいた創る 第一歩 大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、立候補者3名から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成31年4月7日

執行

大分県知事選挙公報

大分県

選挙管理委員会

(掲載順序はくじによる)



日本共産党公認 山下かい

くらしと福祉が一番の県政に

「年金は減って消費税は増税。これでは暮らしていけない」、「子育てにかかるお金が大変」、県民の切実な声にこたえます。派遣切りのキヤノンに76億円の補助金を支出するなど、大企業優遇の県政から、くらしと福祉を最優先の県政に。42歳の若い力で政治を変えます。

【略歴】
1976年湯布院町(現由布市)生まれ。
日本放送協会(NHK)学園高校卒業
党県書記長

【事務所】
大分市中津留 1-2-8
電話 097(558)0652



消費税10%中止、原発ゼロ

国へしつかりモノを言います

これまでの県政は安倍政権言いなりで、消費税増税は「避けられない」、安民法制も「二つの結論」と容認。山下かいは、消費税10%中止、原発ゼロ、日出生台での米海兵隊訓練中止を国へ求めます。国の悪政からくらしと平和を守ります。

国保税の大幅引下げ、

子ども医療費の助成を拡大します

中学卒業まで完全無料に

「豊予海峡ルート構想」や「東九州新幹線整備計画」中止、自由に使える県のため込み金300億円の活用、4年に1度3240万円の知事退職金の返納で、中学卒業まで医療費完全無料化、30人学級の拡大。1兆円の公費投入で、協会けんぽ並みへ国保の負担軽減をめざします。

賃金アップ・雇用を増やします

誘致企業と「地元から正規で雇う」協定を結びます。中小企業支援と一体で最低賃金時給1000円以上に。住宅リフォーム助成拡大と暮らしに役立つ公共事業を増やします。農林水産業支援に力を入れます。

若い力で政治を変える

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は 4月7日(日)



選挙のめいすいくん

投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。

期日前投票の期間 { 県知事選挙 3月22日(金)～4月6日(土) }
{ 県議会議員選挙 3月30日(土)～4月6日(土) }

一票が築く明日の大分県

大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、立候補者3名から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成31年4月7日

執行

大分県知事選挙公報

大分県

選挙管理委員会

(掲載順序はくじによる)

10年以上に及ぶ命をかけた調査の結果をすべて大分県民の皆様、そして全国民の皆様に。



わたくしは、何があっても大分県知事に当選し、たとえどれほどの苦難が待ち受けていようと、県民の皆様と財産を守るため、私の知るすべての真実を皆様にお伝えするために、このたび一大決心をして、選挙に出馬させていただきました。

まず、一番最初に取り組みなければならない問題は、医療改革です。特に医療現場での薬の乱用やばら撒きは他国と比べてみても、異常といっても過言ではないほどの現状であると確信しています。一体どれだけのお年寄りの方々や、知識に乏しい弱者の方々に全く詳しい説明もせず、高いお金を請求しながら、長期間飲み続けても効果がなく、逆に目に余るほどの著しい副作用(毒性)がはっきり分かるのに、医療という現場で過剰な投薬が繰り返されているのか？

知事になり、益々の実態調査を精力的に行っていきたいと思っています。そして、同時に副作用で苦しむ人々の解毒の開始を早急に実施していかなければなりません。そのためには、それが出来る体制やシステムの構築を急ぎ、それらを実行できる場を作り上げていかなければなりません。何かを改革してゆくには、大半は長い長い年月がかかってしまうものですが、我々は、現状を熟考し、どんな時よりも良い未来を創造し、その未来の到来を信じて行動していかなければなりません。何卒、県民の皆様のご理解とご協力をいただきたいと心より願います。

さて、同時にわたくしが詳しく話をし、十分に知り得たい現場は、教育現場です。わたくしは以前、教員を目指し、教員資格も一つ持っておりますが、ここ最近の教育現場の様子が情報という形でしか分かりませんので、ぜひとも精力的に現場に伺い、まずは子供たちは本当に幸せなのか？一人でもお互いを心から信じ助け合い、真の友情が育める暖かい場所という教育現場が、教員の皆さんと学生の皆さんで作られているのかを聞かせていただきたいと願っています。

3つ目に、取り組みたい課題は「温暖化問題」です。本当に夏が暑くなりました。冷房器具がなければ身の危険があるような時代に突入してしまい、この先は益々、想像以上のスピードで酷暑が到来し続けるのではないかと、非常に気になります。住居の在り方や、暮らし方、電気の使い方、等々、わたくし自身がわが身を見つめて、気になることがたくさんありますので、ぜひとも県民の皆さんにも、来たる異常な酷暑に向けて沢山の改善策を提案していただき、皆で一緒に少しでも自然を冷やして暑さを抑えてゆける大分に、日本に、そして地球にしていきたいと思えます。

どうぞよろしく願いいたします。

頑張ります！

首藤 よし子

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は 4月7日(日)



選挙のめいすいくん

投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。

期日前投票の期間 { 県知事選挙 3月22日(金)～4月6日(土) }
{ 県議会議員選挙 3月30日(土)～4月6日(土) }

その一票 おおいた創る 第一歩 大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、立候補者3名から提出された原稿をそのまま印刷したものです。